

平成29年度 合同地域審議会

1. 開催日時 平成30年3月14日（水）16:00～17:00
2. 開催場所 村上市役所本庁舎 5階 第4会議室
3. 出席委員 (村上地区) 片野 清 会長、浅野謙一 副会長
(荒川地区) 会田健次 会長、信田璃美子 副会長
(神林地区) 大嶋芳美 会長
(朝日地区) 忠 隆司 会長、鈴木信之 副会長
(山北地区) 板垣茂樹 副会長
4. 欠席委員 (神林地区) 竹内友二 副会長
(山北地区) 富樫保晴 会長
5. 出席職員 高橋市長、忠副市長
(村上地区事務局) 前川課長補佐
(荒川地区事務局) 小川荒川支所長、平田課長補佐
(神林地区事務局) 鈴木神林支所長、瀬賀課長補佐
(朝日地区事務局) 岩沢朝日支所長、富樫課長補佐
(山北地区事務局) 斎藤山北支所長、大滝課長補佐
(政策推進課) 山田課長、木村参事、東海林課長補佐、田中副参事、林係長
田村係長、酒井主査、加藤主任
6. 傍聴者 (報道関係者) 新潟日報
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

合同地域審議会次第

日時 平成30年3月14日(水)

午後4時から

場所 本庁舎5階第4会議室

- 1 開会

- 2 出席者紹介

- 3 市町村合併のまとめ提出

- 4 市長あいさつ

- 5 意見交換

- 6 閉会

会議経過(要旨)

1. 開会(16:00)

事務局； 定刻になりましたので、ただ今から、合同地域審議会を開会いたします。本日の進行を務めます政策推進課長の山田と申します。よろしく願いいたします。

2. 出席者紹介

事務局； それでは、本日の出席者をご紹介します。

【出席者紹介】

事務局； なお、神林地区の竹内副会長、山北地区の富樫会長は本日欠席のご連絡をいただいております。

続きまして市側の出席者でございます。

【市側出席者を紹介】

3. 市町村合併のまとめ提出

事務局； それでは、次第の3、市町村合併のまとめにつきましては、各地域審議会を代表して荒川地区地域審議会の会田会長から市長へ提出していただきます。

【市町村合併のまとめ提出】

4. 市長あいさつ

【市長あいさつ】

5. 意見交換

事務局； これより意見交換に移ります。先ほど市町村合併のまとめを提出いただきましたが、各地区から合併を振り返っての感想や意見をいただきたいと思っております。最初に村上地区からお願いします。

村上地区； 人口減少問題や雇用対策など課題が多くあると思っておりますが、第2次村上市総合計画や総合戦略の取り組みを着実に進めていただきたいと思っております。来年度から新たに始まる地域会議でもそれらの評価をしていくべきと考えています。市民協働のまちづくりが始まり、まちづくりの基盤は出来ていると思っております。

事務局； 次に荒川地区からお願いします。

荒川地区； 荒川地区は坂町駅を中心に発展してきましたが、合併後、駅前は閑散としている。コンパクトで効率が良く、人口減少も少ない地区であり地域特性を活かしたまちづくりを進めていただきたいと思っております。また、高齢化に伴う買い物難民対策や空き家対策など生活支援を中心にスピード感を持って対応していただきたいと思っております。

事務局； 次に神林地区からお願いします。

神林地区； 神林地区では、合併前からの案件であった小中学校の統合が平成31年、平成32年にと示されましたが、統合後の廃校舎の活用についても検討していただき

たいと思います。若者の定住には、安定した職場が必要であり、企業誘致のほか、職種のミスマッチ解消も図っていただきたいと思います。今後のまちづくりにおいては、行政の縦割りから横の連携を密に進めていただきたいと思います。

事務局； 次に朝日地区からお願いします。

朝日地区； 合併したことで、以前では村上のことでありました平野選手の銀メダルの獲得の件も、我が町のこととして嬉しく思うことができるようになりました。朝日地区は、道の駅を地区の中心としていきたいと思います。まちづくり協議会は今後、イベント型から課題解決型へと移行していくとの方針のようだが、行政としての方針やまちづくり交付金はいつまで続くかなどお聞きしたい。また、頑張っているところへ手厚く支援するなど制度改正も考えていただきたいと思います。また、職員のスキルアップが必要だと思っています。

事務局； 次に山北地区からお願いします。

山北地区； 山北地区は、市の中でも過疎化のスピードが早いと思います。買い物難民への対応についてもすぐ解決できるものではありませんが、検討をお願いしたいと思います。合併で効率化を図り、余剰を地域にとということだと考えていますが、合併後 10 年は合併の諸問題の解決であったと思います。これからは地域の特色を活かしてまちづくりを進めていただきたいと思います。職員も市民の一人として自己研鑽を図りスキルアップしていただきたいと思います。

事務局； それでは、今ほどのご意見を受けて市長から発言をお願いします。

市長； 人口減少は全国的問題であり、出生率ではなく出生数が増えなければならないと考えています。女性の流出が多く、結婚して子どもを産むことが村上市でなぜ出来ないのかを考えていかねばなりません。また、横断的な行政サービスを提供するには縦割りの解消が必要だと思いますが、経験上、なかなか難しいと感じています。その中で、来年度から商工観光課を2つに分け、村上市の強みを横断的に仕掛けていきたいと考えています。合併後、職員の退職者の3割補充によって人件費は約6億円ほど削減されましたが、特に支所では大変だという声を聞いています。これについてはどこまで許容できるのかという部分を考えていかなければならないと思います。まちづくり交付金については議会の議決を得ながら継続していきたいと考えています。どこかを手厚くすることでどこかが薄くなる部分は出てくると思いますが、優先順位を見定めていきたいと思っています。退職者の3割補充によってしわ寄せが出てきておりますが、10年後、20年後を見据えて職員を採用していきたいと考えています。旧朝日村、旧山北町との合併により市全域がみなし過疎地域となったことなど有利な制度を活用することが可能となりました。スケートパークも過疎債がなければ出来ませんでしたし、過疎債を活用することにより留保財源を確保し、基金の積み立てなど行うことができました。日頃から地域の皆さまからは色々なご意見をいただいています。この意見を共有できればスピード感が出ると思います。

事務局； 次に副市長から発言をお願いします。

副市長； 産業振興という部分で少し触れさせていただきます。村上市には優れた特産

物が多くありますが、これらをコーディネートする部分が物足りないと感じています。産業の活性化を図り、総合力を高めることが必要だと思います。農業においても、山間部と平地など地区ごとでのやり方があると思います。農産物などの素材を飲食業へつなげ、リピーターを増やしていくなど、地域経済を循環させる仕組みが必要だと考えています。また、若い人の活躍の場を作ることも大切なことだと考えています。

事務局； 他にご意見のある方からのご発言をお願いします。

村上地区； 交流人口という部分で、外部から人を呼び込み、地元の物を使っていただくなど地域内で循環する仕組み作りは必要だと思います。

6. 閉会

事務局； 以上を持ちまして、合同地域審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。

閉会 (17:00)